

アンケート調査について

1 調査の概要

- (1) 調査対象者 区在住の満 20 歳以上 3,500 人程度
- ・無作為抽出 3,000 人程度
 - ・みどりの活動に参加している区民 500 人程度
- 例：自主管理花壇団体、つながるカレッジ受講生など
- (2) 配布回収方法 郵送法（アンケート用紙を郵送し、返信用封筒にて回収）

2 みどりの満足度調査

みどりの総合計画において、30 年後の目標を「練馬のみどりに満足している区民を 80%に増やす」とことと決めました。みどり施策の効果や進捗を捉える実態調査の目的を踏まえ、新たにみどりの満足度についてのアンケート調査を行います。区民のみどりへの満足度の経年変化を捉えるため、設問は平成 27 年度調査と同様とします。

(1) 主な設問

- ・区全体のみどりの量の増減に対する実感
- ・身近なみどりの量の増減に対する実感
- ・区全体のみどりに対する満足度
- ・身近なみどりに対する満足度

増減の実感

とても 増えている	増えている	変わって いない	減っている	とても 減っている
--------------	-------	-------------	-------	--------------

満足度

満足	おおむね 満足	あまり満足 していない	不満
----	------------	----------------	----

(2) 分析の主な視点

- ・年代、居住年数、居住地域など回答者の属性と満足度の相関性
- ・みどりの量の増減と区民の実感の相関性
- ・みどりの活動への参加の有無と満足度の相関性

3 緑視率とみどりの量の実感との相関性の調査

練馬区における傾向を把握するために、緑視率と区民のみどりの量の実感との関係について、アンケート調査を行います。

国土交通省

およそ 25%を超えるとみどりが多いと感じる人の割合が高くなる傾向がある（都市の緑量と心理的効果の相関関係の社会実験調査について、国土交通省、平成 17 年）

名古屋市

14%を超えるとみどりが多いと感じる人の割合が高くなる（平成 27 年度緑の現況調査緑視率調査結果、名古屋市、平成 28 年）

京都市

遠景の緑がない場所では緑視率が 25%で満足を感じ始めるが、遠景の緑がある場所では 15%で満足を感じ始める（第 1 次京のみどり推進プラン、京都市、平成 23 年）

(1) 主な設問

緑化状況の異なる写真を見せ、写真ごとにみどりの量の実感を5段階評価で問う。

(2) 分析の主な視点

- ・ 緑視率の違いによる比較

例 同じ様な土地利用状況で緑視率が異なる写真



緑視率 10%



緑視率 20%



緑視率 30%

- ・ みどりの内容の違いによる比較

例 同じ緑視率でみどりの質が異なる写真



住宅地と街路樹



住宅地と樹林地



住宅地と農地